

## 2021年度事業計画

気候変動による極端化が世界中で異常気象を引き起こし、海面上昇、生態系の破壊、災害等、人の財産・命を脅かしています。産業革命以降増え続ける温室効果ガス（特に CO2）削減のために化石燃料に代わる再生可能エネルギーの普及拡大に努めるとともに、一般市民が実感をもって気候リスクを共有できるように啓発活動に取り組んでいきます。

### 1 市民共同発電所の安定操業及び収益の有効活用

1～4号機の操業状況を把握し問題点の早期発見と対処に努めます。  
発電能力のデータを有効に活用し発電量の予測精度の向上を行います。  
上記の対応により出資者への安定配当を維持すると共に、将来に向けた活動のため収益の有効活用を進めます。

### 2 市民共同発電所5号機建設の推進

市民共同発電所5号機建設について、FIT 制度頼りではなく再生可能エネルギーの普及を目指す生駒市と連携をとり3号機設置法面に隣接する、西側南向法面に設置する方向で推進します。設備資金は市民ファンドと CEI・ICP にて充当し、完成後の売電先は1～4号機同様 ICP とします。

### 3 生駒市、ICP との連携強化

再生可能エネルギーの普及拡大を進める上でも、2019年 SDGs 未来都市に選定され、エネルギーの視点で市民とまちづくりを進めようとする生駒市及び ICP との連携を強化します。

①環境省補助事業申請検討

②再生可能エネルギー構成比の拡大情報のPR拡散

（ICP ベースロード電源切り替え 大阪ガス⇒みんな電力）

③地産再生可能エネルギー構成比の拡大及びPR拡散

（CEI 5号機/太陽光発電、生駒市北田原 ICP グループ/バイオマス発電）

④地消一般家庭への電力供給及び地産 FIT 切れ太陽光発電量の買取り支援

⑤FIT 終了後の対応セミナー及びエネルギー相談窓口の充実

（安心・中立的な立場からのアドバイス⇒蓄電池情報提供 or ICP 買取り）

#### 4 地球温暖化防止啓発活動

##### ① 出資者報告会

新型コロナ拡大に伴い中止（4.20 楽天信託送付文書に記載）

##### ② CEI 講演会&演奏会・・・10～12月

2030年まであと9年、SDGs 未来都市創造に向け私たちが出来ること！

EX⇒講師：大阪市立大学准教授 斎藤幸平氏

講師：京都大学大学院教授 諸富 徹氏

パネルディスカッションも検討

\*裏面にICPの意義を明確に示した新聞折り込みチラシ配布

\*生駒市環境団体・出演音楽団体・生駒市・南都銀行・生駒商工会議所等協賛

\*大学とのコラボ（奈良先端大学院大学・帝塚山大学・奈良女子大学等）

\*大ホールにて集客目標300名

##### ③ PPA（PowerPurchaseAgreement）「太陽光発電無料設置電力購入契約」での

太陽光発電システム的一般家庭への導入について検証し、推進を図ります。

又、同様のスキームにて自治会館への導入を図るべくICPと連携し進めます。

EX:メトロキャッシュアンドキャリージャパン(株)

(施工:ユニバーサルエコロジー(株))

##### ④ エコネットいこまとの協調連携

◆共催でのソーラーカー工作教室を実施します。

・環境フェスティバル 10/3予定（北コミュニティセンター）

#### 5 組織強化・人材育成

後継者育成、事業拡大のため、目的を共有できる有能な人材の参加を求めると共に、現役若手世代の参加も視野に入れ休日での運営委員会開催、Web 会議による開催も進めていきます。

#### 6 広報活動への取組強化

##### ① 会社案内パンフレットの作成及びホームページの充実強化

② 長年の願望であったロゴマークも決定し、CEI 広報活動の取組にこれまで以上にインパクトを持って推進していきます。

◆ロゴマーク入り資料・景品等の作成

・イベント時に配布可能品（7灯式LEDライト、透明ファイル等）

◆ロゴマークなし 3灯式LEDライト作成

・CEI/PR及び営業推進活用

(CEIネーム、環境大臣賞・新エネ大賞受賞刻印 1000本準備)

以 上